

ゴジラの通り道にある建物は、ゴジラにたたきつぶされて、完成になるのですが、なかなかこわれず、作るときからこわれかたを考えて作られるようになりました。

このようにして、造られた怪獣映画は、「ゴジラ」、「モスラ」、「ラドン」など約三十本、「日本誕生」<sup>たんじょう</sup>、「白夫人の妖恋」<sup>ようれん</sup>、「世界大戦争」、「キスカ」、「山本五十六」<sup>いそろく</sup>など特撮技術を使った大きな作品が約二十本、合わせて五十本の映画を作りました。

英二かんとくが、いつか作りたいと思っていた映画がありました。それは「かぐや姫」と「金星探検」でした。その話をする英二のひとみは、青年のようにかがやいていました。それは、年をとつても若いあこがれを持ち続けていたからです。

昭和三十七年、英二が飛行機でアメリカに行ったときです。ニューヨークを飛びたつてから、しばらくすると機長があいさつに来ました。ゴジラを作った有名